

## 2022 年度前期 授業評価アンケートの実施概要

---

### 1. アンケート実施の目的

授業に対する学生の評価を担当教員が知り、当該教員がこれを活用して授業の改善を図るとともに、大学が組織的に授業改善に取り組むことを目的として、学生による授業評価をアンケートにより実施する。

### 2. アンケートの実施方法

コロナ禍より一部授業科目において遠隔で授業が実施されることに伴い、従来実施していた授業時間内に OCR 用紙による回答が不可能な科目が発生するため、全科目 Web を活用した授業評価アンケートを実施した。

### 3. アンケート実施期間

2022 年 7 月 18 日（月）から 29 日（金）をアンケート実施期間とした。

### 4. アンケート対象科目

アンケートの実施対象科目は次のとおりとした。

- ①2022 年度前期開講の授業科目の内、卒業研究と卒業研究に関連する 세미나を除いた授業科目。
- ②履修登録者が 10 名以上の授業科目。

### 5. アンケート項目

全授業科目同一の 10 項目とした。

### 6. アンケート実施の告知

アンケート実施期間に先立ち、全授業担当教員に対して E-mail でアンケートの実施と回答方法および受講生に対する回答指導の依頼を、7/11 および 7/28 の 2 回にわたり配信した。

全学生に対して掲示に加えてポータルサイトと Teams にてアンケートの実施と回答方法を、7/15 および 7/26 の 2 回にわたり告知した。

### 7. アンケートの集計

アンケートの集計は 8/23 に Web で授業担当教員に開示した。

### 8. 授業評価アンケートの設問と回答肢

**[I] この授業の授業内容、授業方法について伺います。担当教員が複数にわたる授業については、授業全体について回答してください。**

#### 1. 授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)

- ①簡単すぎてものたりなかった
- ②難しすぎてほとんど理解できなかった
- ③簡単で、ものたりないと思うこともあった
- ④難しかったが半分くらい理解できた
- ⑤適切であり、ほとんど理解でき、ものたりなくもなかった

#### 2. 担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。(工夫)

- ①まったく工夫や配慮はなかった
- ②あまり工夫や配慮はなかった
- ③どちらともいえない
- ④だいたい工夫や配慮はなされていた
- ⑤極めて工夫や配慮がなされていた

#### 3. 担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをしていましたか。(コミュニケーション)

- ①まったくコミュニケーションはなかった
- ②あまりコミュニケーションはなかった
- ③どちらともいえない
- ④だいたいコミュニケーションはできた
- ⑤十分にコミュニケーションができた

#### 4. 担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)

- ①上手とはいえなかった
- ②あまり上手とはいえなかった
- ③どちらともいえない
- ④上手であった
- ⑤大変上手であった

5.使用した教材（テキスト・配布資料など）は適切（量・難易度）でしたか。（教材）

- ①まったく適切でなかった
- ②あまり適切ではなかった
- ③どちらともいえない
- ④だいたい適切だった
- ⑤極めて適切だった

6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって質や量の点からみてどうでしたか。（課題）

- ①簡単すぎてものたりなかった
- ②難しすぎてほとんどできなかった
- ③簡単で、ものたりないと思うこともあった
- ④難しく、できないこともあった
- ⑤適切であり、ほとんどでき、ものたりなくもなかった

7.この授業は興味・関心を引き起こすものでしたか。（興味）

- ①まったく興味・関心を引き起こすことはなかった
- ②あまり興味・関心を引き起こすことはなかった
- ③どちらともいえない
- ④興味・関心を引き起こすものだった
- ⑤非常に興味・関心を引き起こすものだった

8.この授業の満足度はどうでしたか。（満足度）

- ①満足していない
- ②あまり満足していない
- ③どちらともいえない
- ④だいたい満足している
- ⑤非常に満足している

**[Ⅱ] あなた自身の授業への姿勢や学習状況を伺います。**

1.あなたはこの授業について、平均すると毎週どれくらい授業に関連した学習（予習や復習、レポートの作成、情報の検索や関連図書の購読など）を行いましたか。

- ①まったくしていない
- ②30分程度
- ③1時間程度
- ④2時間程度
- ⑤3時間以上

2.授業への集中、質問・発言・討論、実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。

- ①不十分だった
- ②どちらかという和不十分だった
- ③どちらともいえない
- ④積極的であった
- ⑤非常に積極的であった

## 2022 年度前期 授業評価アンケートの分析

### 1. 授業評価アンケート分析データの概要

2022 年度前期授業評価アンケート結果の分析に用いたデータの概要を以下に示す。なお、対面・遠隔の区分については講義室使用状況から判断しているため、実際の運用と誤差は生じる。

【表 1】全体の回答率

区分	対象授業数	履修者数	回答者数	回答率
全体	841	33486	21034	62.8%
対面	618	23045	14907	64.7%
遠隔	223	10441	6127	58.7%

※巻末の参考資料は、＜未実施＞科目の履修者数（10名）を除いて集計

【表 2-1】学生全体の回答率

区分	※1 対象学生数	※2 回答学生数	回答率	※3 全科目回答者数	※4 全科目回答率	※5 未回答者数	※6 未回答率	履修登録科目数	回答科目数	回答率
全体	3167	2427	76.6%	1604	66.1%	740	23.4%	33486	21034	62.8%
対面								23045	14907	64.7%
遠隔								10441	6127	58.7%

【表 2-2】学生入学年ごとの回答率

区分	※1 対象学生数	※2 回答学生数	回答率	※3 全科目回答者数	※4 全科目回答率	※5 未回答者数	※6 未回答率	履修登録科目数	回答科目数	回答率	
22 生	全体	979	935	95.5%	755	80.7%	44	4.5%	13349	11136	83.4%
	対面							8903	7564	85.0%	
	遠隔							4446	3572	80.3%	
21 生	全体	820	654	79.8%	346	52.9%	166	20.2%	9896	5268	53.2%
	対面							6900	3877	56.2%	
	遠隔							2996	1391	46.4%	
20 生	全体	787	562	71.4%	318	56.6%	225	28.6%	7870	3850	48.9%
	対面							5760	2932	50.9%	
	遠隔							2110	918	43.5%	
～19 生	全体	580	276	47.6%	185	67.0%	304	52.4%	2355	780	33.1%
	対面							1469	534	36.4%	
	遠隔							886	246	27.8%	

※1)：アンケート実施科目において最低 1 科目の履修登録がある学生

※2)：アンケート回答を最低 1 科目回答した学生

※3)：履修登録したすべての科目のアンケートに回答した学生

※4)：分母は回答学生数

※5)：1 科目もアンケートに回答していない学生

※6)：分母は対象学生数

## 2. 授業評価アンケート結果の分析

### ●本節の構成

- 2-1：全体
- 2-2：常勤/非常勤別
- 2-3：学科/教室別
- 2-4：開講期別

### ●データの見方

5段階評価で5に近いほど、教え方などの評価が高く、欠席などのマイナス要因が少なくなる。ただし、項目I-1（難易度）と項目I-6（課題）は、選択肢5の配点が5、選択肢3と4の配点がともに3.5、選択肢1と2の配点がともに1.5と変則的になっている。

なお、表中の平均値について、以下のとおり網掛けする。

3.0未満	3.0～3.5未満	3.5～4.0未満	4.0～4.5未満	4.5以上
-------	-----------	-----------	-----------	-------

### 2-1 全体の分析

【表 3-1】全体の授業評価平均（前期/2020年度～2022年度：2020年度は実施せず）

質問項目	2022年度		2021年度		2020年度
	対面	遠隔	対面	遠隔	
設問 I の平均	3.90	3.73	3.86	3.62	-
I-1 難易度	4.08	4.09	4.13	3.90	
I-2 工夫	3.90	3.70	3.83	3.63	
I-3 コミュニケーション	3.73	3.18	3.64	3.11	
I-4 教え方	3.77	3.58	3.69	3.48	
I-5 教材	3.87	3.80	3.83	3.68	
I-6 課題	4.24	4.23	4.25	4.11	
I-7 興味	3.76	3.55	3.72	3.48	
I-8 満足度	3.87	3.72	3.83	3.58	
II-1 授業時間外の学習	2.54	2.64	2.77	2.92	
II-2 積極性	3.49	3.37	3.47	3.22	

【表 3-2】入学年度ごとの授業評価平均（前期/2022年度）

質問項目	22生		21生		20生		～19生	
	対面	遠隔	対面	遠隔	対面	遠隔	対面	遠隔
設問 I の平均	3.94	3.74	3.85	3.69	3.87	3.73	3.87	3.86
I-1 難易度	4.16	4.10	4.00	4.04	3.99	4.09	4.02	4.06
I-2 工夫	3.93	3.70	3.86	3.67	3.88	3.72	3.92	3.87
I-3 コミュニケーション	3.76	3.16	3.69	3.23	3.71	3.12	3.78	3.32
I-4 教え方	3.80	3.58	3.71	3.53	3.78	3.62	3.72	3.76
I-5 教材	3.89	3.84	3.83	3.73	3.86	3.75	3.84	3.87
I-6 課題	4.30	4.25	4.20	4.17	4.15	4.25	4.15	4.32
I-7 興味	3.78	3.54	3.71	3.51	3.77	3.60	3.72	3.78
I-8 満足度	3.93	3.74	3.79	3.65	3.83	3.68	3.83	3.88
II-1 授業時間外の学習	2.43	2.63	2.68	2.71	2.64	2.58	2.55	2.76
II-2 積極性	3.57	3.43	3.47	3.38	3.36	3.18	3.34	3.25

2022年度前期も前年度と同じく遠隔授業と対面授業が混在する形で、授業運営がなされた。また、授業評価アンケートも、引き続きweb回答方式で行われ、これで2年目となった。その結果、【表1-1】に示したとおり、全体の回答率は62.8%であり、昨年度の63.2%とほぼ同じであった。2019年度までの方式（対面授業時にその場でOCR用紙で回答）では、約90%の回答率であったことから大幅に低下しているが、アンケートの実施方式の違いに起因するものであり、今後もweb回答方式でアンケート実施していく場合は、60%前後の回答率を基準としつつ、回答率を高める努力が求められる。対面授業と遠隔授業の比較では、対面で64.7%にあったのに対して遠隔で58.7%と、対面授業の回答率が高かった。対面授業においては、担当教員が授業内でアンケート回答のための時間を設けるケースもあり、それが遠隔授業よりも高い回答率につながっていると思われる。また、学科・専攻ごとに見た場合は、全体的に60%前後の回答率だが、かおりデザイン専攻だけは84.1%と高かった。かおりデザイン専攻全体としてアンケートへの回答を指導していることが伺われる。また、常勤と非常勤での回答率の違いはほとんどない。

【表3-1】では、2022年度前期の対面と遠隔の授業評価を比較している。授業そのものの評価であるIの質問項目の全体平均は、昨年度同様に対面授業の方が遠隔授業よりも高いが、その差は小さい。I-1～I-8の個別の質問では、I-3「コミュニケーション」項目だけは、対面で3.73、遠隔で3.18と大きな差がある。これは昨年度も同様の傾向である。コンピューターネットワークを介した遠隔授業では、コミュニケーションの面では対面授業に劣ることがアンケート結果から確認された。Iの質問項目全体の平均値で、遠隔授業が対面授業よりも少し低いのも、I-3「コミュニケーション」項目の差の影響が大きい。

2021年度前期と2022年度前期を比較すると、I-1～I-8の設問では全般的に傾向は似通っている。II-1授業時間外の学習については、2022年度前期は少し減少している。一方で、II-2積極性については、僅かな上昇がみられた。

【表3-2】の入学年度ごとの授業評価平均においては、入学年度ごとの大きな差はない。2021年度の入学生からPC必携化が行われたが、遠隔授業も含めて授業評価への影響はあまりなかったようである。

## 2-2 常勤／非常勤別の分析

【表4-1】専任教員の授業評価平均（前期／2020年度～2022年度：2020年度は実施せず）

質問項目	2022年度		2021年度		2020年度
	対面	遠隔	対面	遠隔	
設問Iの平均	3.92	3.77	3.90	3.65	-
I-1 難易度	4.11	4.08	4.15	3.87	
I-2 工夫	3.94	3.78	3.88	3.69	
I-3 コミュニケーション	3.74	3.19	3.67	3.16	
I-4 教え方	3.81	3.66	3.75	3.53	
I-5 教材	3.88	3.84	3.84	3.72	
I-6 課題	4.24	4.25	4.25	4.08	
I-7 興味	3.79	3.60	3.77	3.52	
I-8 満足度	3.89	3.77	3.86	3.63	
II-1 授業時間外の学習	2.58	2.66	2.84	2.97	
II-2 積極性	3.47	3.41	3.46	3.25	

【表 4-2】非常勤講師の授業評価平均（前期／2020 年度～2022 年度：2020 年度は実施せず）

質問項目	2022 年度		2021 年度		2020 年度
	対面	遠隔	対面	遠隔	
設問 I の平均	3.86	3.71	3.82	3.59	-
I-1 難易度	4.04	4.09	4.11	3.93	
I-2 工夫	3.84	3.67	3.77	3.56	
I-3 コミュニケーション	3.72	3.17	3.60	3.06	
I-4 教え方	3.71	3.54	3.62	3.43	
I-5 教材	3.85	3.79	3.81	3.64	
I-6 課題	4.23	4.22	4.25	4.14	
I-7 興味	3.71	3.52	3.66	3.43	
I-8 満足度	3.84	3.69	3.78	3.52	
II-1 授業時間外の学習	2.48	2.64	2.69	2.86	
II-2 積極性	3.52	3.35	3.48	3.18	

専任教員・非常勤講師ともに、遠隔講義科目の設問 I の平均点が明確に向上した。おそらく、講義資料の作成に慣れて動画や音声を導入した教員が増加したためだろう。学生へのアンケート結果から、動画や音声の利用が望まれており、対応いただいたことに感謝したい。全体として、2021 年度と比べて点数が下がった項目はほぼ無く、専任教員・非常勤講師の区別なく適切に授業運営がなされていたと判断できる。専任・非常勤の比較で差が大きく見えるのは「教え方」の項目であるが、専任教員の方が担当科目が多いこと、学生との距離が近いことで、対応がしやすいのが要因であると考えられる。

### 2-3 開講期別の分析

【表 5】開講期ごとの授業評価平均（前期／2022 年度）

質問項目	1 期		3 期		5 期		7 期	
	対面	遠隔	対面	遠隔	対面	遠隔	対面	遠隔
設問 I の平均	3.93	3.74	3.85	3.68	3.87	3.77	3.98	3.87
I-1 難易度	4.16	4.10	4.00	4.02	3.99	4.14	4.13	4.02
I-2 工夫	3.92	3.71	3.87	3.67	3.88	3.74	3.97	3.90
I-3 コミュニケーション	3.76	3.16	3.69	3.20	3.71	3.18	3.94	3.61
I-4 教え方	3.79	3.58	3.72	3.53	3.77	3.64	3.78	3.78
I-5 教材	3.89	3.84	3.83	3.72	3.86	3.78	3.90	3.85
I-6 課題	4.29	4.25	4.20	4.14	4.15	4.30	4.27	4.27
I-7 興味	3.77	3.53	3.72	3.51	3.77	3.65	3.92	3.73
I-8 満足度	3.92	3.74	3.80	3.64	3.83	3.72	3.97	3.80
II-1 授業時間外の学習	2.43	2.63	2.66	2.71	2.65	2.59	2.56	3.27
II-2 積極性	3.56	3.41	3.45	3.36	3.38	3.22	3.51	3.63

設問 I においては設問 I-3（コミュニケーション）の項目を除いた 7 項目で全期にわたって 3.5 以上であり、全学的に学生にとって良い授業が実施されていたと考えられる。また、設問 I-6（課題）は全期にわたって 4.0 を上回った。

2021 年度前期と比べ、設問 II-1（授業時間外の学習）以外すべての項目で平均値が上昇した。これは、2022 年度前期に開講された遠隔授業の数が 2021 年度前期と比べ減少したことも一因と考えられる。

2022 年度前期の授業運営は対面と遠隔のどちらかの形態で実施されたため、授業形態の違いによる授業評価アンケートの結果（平均値）の大幅な差を想定していたが、結果は設問 I-3（コミュニケーション）の項目においてのみ各期で平均値の大幅な差（概ね 0.3～0.6）を確認できるが、それ以外の項目では各期で概ね 0.1～0.2

ポイントの差に留まった。コミュニケーションに関しては、オンデマンド方式の遠隔授業において、積極的な学生はチャット等を利用して教員と密にコミュニケーションを取ることができるが、消極的な学生は教員とのコミュニケーションが皆無になる傾向があると考えられる。そのため、設問 I-3（コミュニケーション）の項目の低下の大きな要因は、「積極的に学ぶ学生数<消極的に学ぶ学生数」であると考えられる。この項目の改善のためには、コミュニケーションの場を作ることも必要であるが、学生の学ぶ姿勢を変化させることが必要である。

また、アンケート結果（平均値）から見える対面・遠隔の優位性については各期とも概ね以下のように分類できる。

- ・比較的对面優位：設問 I-2（工夫）、設問 I-3（コミュニケーション）、設問 I-4（教え方）、設問 I-7（興味）、設問 I-8（満足度）、設問 II-2（積極性）
- ・比較的遠隔優位：設問 II-1（授業時間外の学習）
- ・どちらともいえない：設問 I-1（難易度）、設問 I-5（教材）、設問 I-6（課題）

設問 II-1（授業時間外の学習）において遠隔授業が優位にあるのは、遠隔授業がライブ形式ではなくオンデマンド形式で実施されているため、あらかじめ決められている時間割時間外での学習が可能になっているためと考えられる。一方で、設問 I-1（難易度）・設問 I-5（教材）・設問 I-6（課題）に関しては各期とも対面と遠隔の授業形態の違いによる影響は少ないものと考えられる。理由としては、学生・教員ともに遠隔授業に慣れてきていること、遠隔授業のために作成された授業用資料の質の向上などが考えられる。ちなみに、設問 I-6（課題）に関しては、1期・3期では若干対面授業が優位なのに対し、5期・7期では同等か若干遠隔授業が優位にあることが見て取れる。明確な理由がわからないため引き続き検証していきたい。

2022年度 前期 授業評価アンケート(全体)

大同大学

総履修者数	33,476
総回答者数	21,034
総回答率	62.8%

【アンケート項目ごとの評価】

設問	内容	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	有効回答	無効回答	平均
1-1	授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	272	1,341	1,683	7,395	10,297	20,988	46	4.08
		1.3%	6.4%	8.0%	35.2%	49.1%			
1-2	担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。(工夫)	404	1,109	5,022	9,302	5,158	20,995	39	3.84
		1.9%	5.3%	23.9%	44.3%	24.6%			
1-3	担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをしていましたか。(コミュニケーション)	1,006	1,840	6,919	6,616	4,623	21,004	30	3.57
		4.8%	8.8%	32.9%	31.5%	22.0%			
1-4	担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	538	1,125	6,528	8,374	4,418	20,983	51	3.72
		2.6%	5.4%	31.1%	39.9%	21.1%			
1-5	使用した教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。(教材)	325	945	5,312	9,391	4,992	20,965	69	3.85
		1.6%	4.5%	25.3%	44.8%	23.8%			
1-6	この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって質や量の点からみてどうでしたか。(課題)	199	805	1,556	6,409	11,274	20,243	791	4.24
		1.0%	4.0%	7.7%	31.7%	55.7%			
1-7	この授業は興味・関心を呼び起こすものでしたか。(興味)	536	1,447	6,389	8,076	4,537	20,985	49	3.70
		2.6%	6.9%	30.4%	38.5%	21.6%			
1-8	この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	490	1,117	5,004	9,336	5,050	20,997	37	3.83
		2.3%	5.3%	23.8%	44.5%	24.1%			
2-1	あなたはこの授業について、平均すると毎週どれくらい授業に関連した学習(予習や復習、レポートの作成、情報の検索や関連図書の購読など)を行いましたか。	3,465	6,369	7,671	2,469	934	20,908	126	2.57
		16.6%	30.5%	36.7%	11.8%	4.5%			
2-2	授業への集中、質問・発言・討論、実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	652	1,413	9,440	6,455	2,905	20,865	169	3.46
		3.1%	6.8%	45.2%	30.9%	13.9%			
合計		7,887	17,511	55,524	73,823	54,188			3.68
		3.8%	8.4%	26.6%	35.3%	25.9%			

